

全日赤

# 平和対策ニュース

2017年  
8月15日  
2017-01

原水爆禁止2017年世界大会・長崎開催

## 核兵器禁止条約を力に！

8月7～9日、長崎市内で、原水爆禁止世界大会が開催され約7,000人が参加しました。被爆72年の今年は7月に国連会議で核兵器禁止条約が採択された後の集会であり、条約交渉会議をリードしてきた国連軍縮担当上級代表をはじめ、被爆者、長崎市長、各国政府・海外代表、国内の反核・平和団体、国民大行進者などがスピーチし、禁止条約を力に核兵器廃絶に進む決意が述べられました。また8日には、長崎市内各地で核兵器禁止条約実現のもとでの運動、憲法9条、被爆体験の継承・実相の普及、沖縄との連帯など多彩なテーマでの分科会や国際交流フォーラム、特別集会、階級別・分野別交流会がおこなわれました。

### 核兵器依存国への警鐘

開会総会で国連上級代表は「核兵器禁止条約は核兵器に依存する国々への警鐘であるといえる」と語りました。また、「条約の核心は核兵器を否定し、それを国際法として成文化した点にある」と指摘。そして、「国連は核兵器のない世界という目標へ具体的な歩みを進めるため、すべての国々や市民社会と協力し、いっそう努力したい」と力強く発言しました。また、閉会総会では、禁止条約交渉会議の議長から「みなさんのリーダーシップを頼りにしています。私の決意は揺らぐことはありません」とのメッセージが紹介されました。

#### 核兵器禁止条約とは

「核兵器のない世界」を目指し、核兵器の使用や開発、実験、生産、製造、保有などを禁止する内容。核抑止力の根幹ともされる「使用することの威嚇」も禁止する。

日本は核保有国と共に会議に不参加。条約採決は賛成122カ国、反対・棄権はそれぞれ1カ国だった。条約は9月20日に各国の署名が始まり、50カ国の批准を得て発効する。

### 赤十字国際委員会の総裁から連帯メッセージ



8月3日から広島で開催された原水爆禁止世界大会国際会議で、赤十字国際委員会の総裁から連帯のメッセージが届けられたことが発表されました。赤十字国際委員会は、国連の核兵器禁止条約の採択にあたっての交渉会議にオブザーバー参加しています。

※核兵器禁止条約採択についての赤十字国際委員会（ICRC）と国際赤十字・赤新月社連盟（連盟）の共同声明が掲載されていますので、ご参照ください。

（ICRC 駐日事務所ホームページ） <http://jp.icrc.org/event/jointstatement07july2017/>

#### 医労連の産別集会に参加された長崎単組・Hさんの感想（一部抜粋）

今回の国連の会議は、世界的にとっても有意義なそして素晴らしい採決が行われたと記憶しております。その具体的な内容が聞けるかと思っておりました。核と環境という視点で物事を考える、という新しい視点を知る事ができてよかったです。

今年は被爆者の方のお話はなかったと伺いました。被爆地長崎なのに！せっかく生きた語り部の皆さんがいらっしゃるのに！被爆者の方々は、高齢化されて実際に話すことができる方は減っています。来年からは、ぜひまた、被爆者の方々のお話を1人でも、多くの方が聞くことができるようにお願いします。戦争を知らずして平和の話はできません。